

河川砂防技術研究開発公募(河川技術分野)平成21年度採択テーマ

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
リアルタイム画像処理合成開口レーダの実用化に関する技術開発(研究期間:H21年~H24年)	東北大学 犬竹 正明	A
<p><研究概要>(200文字程度)</p> <p>水害等の大規模自然災害時や夜間・悪天候下における防災情報を機動的に収集でき、防災活動や救助活動の初動対応に威力を発揮する高性能、小型軽量(25kg)、リアルタイムな画像生成および移動体検出が可能なスポットライト合成開口レーダ“Live SAR”を開発した。ヘリコプタ機上試験により、ユーザインターフェイス画面上で指定した任意方向の高分解(13cm)画像を迅速(30秒以下)に取得でき、地上へリアルタイムに画像転送できることを実証した。</p> <p><事後評価コメント></p> <p>小型軽量で高い精度を持つ合成開口レーダを低コストで開発することができた。災害調査での合成開口レーダの活用につながる研究開発であり、研究目的は達成され、十分な研究成果があったと言える。</p> <p>今後は画像データが蓄積されて、画像精度の向上と画像の判読技術の開発を進めることが期待される。</p>		

※評価基準

- A: 研究目的は達成され、十分な研究成果があった
- B: 研究目的は概ね達成され、研究成果があった
- C: 一定の研究成果があった
- D: 研究成果があったとは言い難い